

# 豊田中学区新設小中一貫校についてのお知らせ

2019年5月 第11号

小山市小中一貫校（豊田中学区）推進委員会

小山市小中一貫校（豊田中学区）推進委員会は、自治会の代表の皆様、PTAの皆様、学校評議員・学校運営協議会委員の皆様、関係校の校長で組織しております。

2018年度には、計4回の推進委員会を開催しました。

2019年1月25日（金）には、第3回目の委員会として、先進地視察を行いました。栃木県初の義務教育学校である「小山市立絹義務教育学校」、木をふんだんに活用して建築された校舎を持つ、茨城県の「つくばみらい市立陽光台小学校」の2校を視察しました。

今回の会報では、視察のようすをご紹介します。

## ●小山市立絹義務教育学校視察のようす

小山市立絹義務教育学校は、2017（平成29）年度4月、福良小学校、梁小学校、延島小学校、絹中学校の4校が統合し、栃木県初の「義務教育学校」として開校しました。

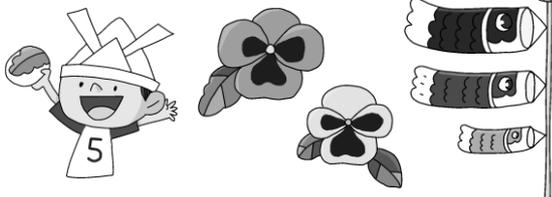
「義務教育学校」とは、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育について、基礎的なものから一貫して施すことを目的とした9年制の学校であり、小中一貫校の一種です。義務教育前期課程（小学校6年間部分）、後期課程（中学校3年間部分）の計9年間で一人の校長のもと、原則として小中の免許を併有した教員が、一つの教職員組織を構成し、学校教育にあたります。



絹義務教育学校の先生方から説明を聞きます



歴史館を見学しました



### 絹義務教育学校の特徴と成果を紹介いただきました

#### ▶施設隣接型校舎

隣り合う旧福良小校舎と、旧絹中校舎を渡り廊下で繋いでいます

#### ▶学年段階の区切り「4-3-2」

基礎・基本期 1～4年生

習熟・接続期 5～7年生

充実・発展期 8～9年生

小学校（前期課程）と中学校（後期課程）の円滑な接続のため、「習熟・接続期」に重点を置いた指導を行っています

#### ▶前期課程での教科担任制の導入

#### ▶教員の前期課程、後期課程の相互乗入授業の実施

#### ▶児童生徒の異学年交流

#### ▶9年間を見通した教育課程

本場結城紬を教材とした「ふるさと学習」

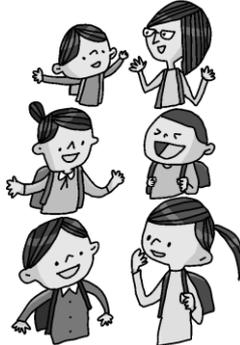
#### ▶閉校した学校の歴史を保存する「歴史館」

### ♪視察した推進委員の皆さんの感想から♪

- 9年間を通じた教育課程、恵まれた教員配置などメリットがある。
- 閉校した学校の歴史を展示するスペースがあり、意義がある。豊田北小も豊田南小も歴史がある。新設校にも設けてほしい。



## ●つくばみらい市立陽光台小学校視察のようす



### 《つくばみらい市立陽光台小学校》

文部科学省主催、「2018 文教施設セミナー」にて、先進的な木材利用例として取り上げられた学校の一つです。設計業者、学校の先生方から、木をふんだんに使った校舎の概要や特徴、子どもたちの学びの様子などについて説明をいただくことができました。

学校規模	大規模校 24 学級 745 名（特支 3 学級 19 名）
構造	木造・一部 RC(鉄筋コンクリート)造の混合構造 2 階建 木造部分は一般に流通材を活用し、RC 造と同等の躯体コストを実現。
竣工	2015 年 5 月 延床面積 10,895 m <sup>2</sup>

♪視察した推進委員の皆さんの感想から♪

- ▶ 木材をふんだんに使用した斬新なデザイン。普通教室の廊下側の壁が斜めになっていてデザインも素晴らしい。開放感を取り入れながら、防音・空調も機能している。豊田新設校でも木材を入れてほしい。
- ▶ 木がふんだんに使われていて温かみ、ぬくもりがある。教室も戸がなく、視覚的にセパレートさせていて、リラックスして授業に臨めるのではないかと。豊田は周辺が田畑のため、地域に調和し映える。是非、木を使ってほしい。
- ▶ 木をふんだんに使っていて柔らかな感じ。壁面の木材も温かく、落ち着いた印象。1 階の図書室もオープンスペースで子どもたちも利用しやすいし、同時に PC も使いやすい環境になっている。新設校では収納スペースを十分に取ってほしい。トイレ、水呑みなど、日常使うところにも気を配って、子どもにとって使いやすい設計としてほしい。

このお知らせ(会報)は、豊田中学区にお住まいの方を対象に配布しております。  
※配布は自治会単位のため、豊田中学区外の方へ届く場合がありますがご了承ください。